

2012年12月6日

Oasis Project

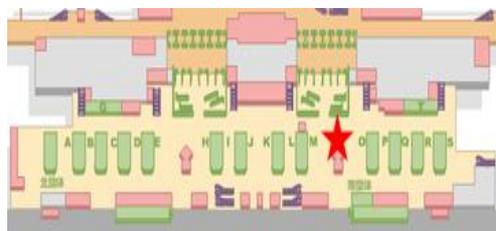
『モーニング&アフタヌーンコンサート』の開催について

楽しさにあふれ、お客様に喜ばれる成田空港を目指して発足した『成田空港オアシスプロジェクト』。今月の『モーニング&アフタヌーンコンサート』は、12月10日(月)から14日(金)の間にかけて開催いたします。出国前にくつろぎのひと時をお過ごしください。

◆開催日時及び出演者(演奏は下記時間にて随時)

開催日	モーニングの部 (8:00~10:00)	アフタヌーンの部 (15:00~17:00)
12月10日(月)	本間 美貴子(ハープ)	齋藤 靖子(ヴァイオリン) 岩尾 宏(ギター) 佐藤 アル美(ピアノ) 武田 将(ヴィブラフォン) 伊野 秀一(コントラバス)
12月11日(火)	萩原 よう子(ピアノ)	『Dahlia(ダリア)』 森重 まりな(ピアノ連弾) 本間 翔子(ピアノ連弾)
12月12日(水)	伊藤 浩史(ピアノ)	松下 美千代(ピアノ)
12月13日(木)	中山 美佳(ピアノ)	長岡 聡季(ヴァイオリン) 水谷 直子(ピアノ)
12月14日(金)	石樽 仁恵(ピアノ)	高橋 奈津子(ピアノ)

- ◆開催場所 : 第2旅客ターミナルビル本館3階
南側ウェイトングエリア
Narita Airport Stage “SKYRIUM”
- ◆主催 : 成田国際空港株式会社



【別紙】 出演者プロフィール

本間 美貴子（ほんま みきこ）



8歳より日本ハープ音楽院にて、アイリッシュハープを故三村勉氏に師事。
11歳より三村ハープアンサンブルに加入。
その後、メンバー又は、コンサートミストレスとして、演奏活動に参加。
17歳よりグランドハープをはじめ。
東京芸術大学別科ハープ専攻修了
第11回日本ハープコンクール レバーハープ部門優勝
日本ハープ音楽院講師を経て、現在、千葉県を中心にフリーでソロ、オーケストラ等の演奏活動や後進の指導にあたっている。
これまで吉野篤子氏、渡辺万里氏に師事。

齋藤 靖子（さいとう やすこ）



5歳よりピアノを、10歳よりヴァイオリンを始める。
ピアノをマグルダー雅子氏、ヴァイオリンを松江川洋子氏、長岡聡季氏に師事。
学生時代より首都圏を中心に様々なオーケストラ、室内学等々で演奏活動を展開している。

岩尾 宏（いわお ひろし）



横浜市生まれ。2年間のヨーロッパ留学中に、クラシックギター、フラメンコ・ギターを学ぶ。1989年に帰国後はラテン、ポピュラーなど多数のバンドに在籍し、ステージ経験を積む。近年では「ギターデュオ・アスール」としてアコースティック中心の演奏を行っている。長年の豊富な演奏キャリアを活かし神奈川、東京、千葉の音楽院にてギター科講師をつとめる。1999年よりスタジオ・アスール主宰。

佐藤 アル美（さとう あるみ）



5歳からピアノを始め18歳まで某音楽大学教授より本格的にクラシックピアノを学ぶ。その後ジャズに転身 ポピュラーからスタンダードジャズ、ジャズヴォーカリストの伴奏など都内ライブハウス、ピアノラウンジで幅広く演奏活動中。

武田 将（たけだ すすむ）



武蔵野音楽大学卒業。
現在フリーの打楽器奏者としてクラシックをはじめ、ジャズ、ポップスなど
様々な分野で活動。
スクールコンサート、老人ホームでの演奏から都内ホテル、ラウンジ等での
ジャズ演奏、テレビ録音なども経験。
レゲエ・バンド、ヒップホップ・バンドでのパーカッションサポートとしてライブハ
ウスやクラブシーンに於いても活動の場を広げている。

伊野 秀一（いの しゅういち）



チェロの専門教育を受けるもジャズの世界に魅せられジャズベーシストに
転向する。演奏活動の傍らイベントプロデューサーとしてレクサスコンサ
ート、竹内直スーパージャズライブなどイオン各店での音楽祭、ライブ、そし
て成田空港オアシスプロジェクトの企画演出制作に携わる。またヤマハの
ピアノ調律師のライセンスを持ち芝山文化センター、成田国際文化会館等
コンサートホールを担当、ピアニスト大原保人に同行しスイス、ニュージ
ーランド、タイ等々世界各国を廻る。かとり蔵ジャズなど地域発展の大規模
音楽イベントを立上げる他、小中学生対象の芸術鑑賞会等活動は多岐に
渡る。
非営利特別活動法人日本芸術文化協会理事長

萩原 よう子（はぎわら ようこ）



東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。
これまでに作曲を池内政克氏、野田暉行氏、松尾政孝氏に師事。
現在ヤマハミュージックメディアアレンジャー、精華学園高等学校非常勤講
師。
その他リトミック、ピアノ講師やレストランなどでBGMピアニストとしても活躍。

Dahlia(ダリア)



2011年東京音楽大学音楽学部ピアノ科卒業。在学中に学内オーディショ
ン合格者による演奏会に出演。
2011年にピアノデュオDahliaを結成。
同年12月に1st コンサートを開催。
現在、森重まりなは東京音楽大学大学院ピアノ専攻2年に在学中。
本間翔子はリトミック・ピアノ講師、ブライダルプレーヤーを務める。
その他でも伴奏、室内楽、オーケストラピアニストなどお互い様々な場で演
奏活動を広げている。

伊藤 浩史 (いとう ひろし)



ヤマハ音楽院プロフェッショナルキーボード科にて、作曲アレンジ、演奏を学び、卒業後サポートキーボーディストとフリーアレンジャーを平行して行う。
2009年、2010年にインターネット上で自主制作CDを作成し販売。
2011年、FARM RECORDSより、松咲リエ/ありがとうのコトバをアレンジ、配信する。

ポップス、R&Bなどを得意とし、現在も演奏、作編曲を中心に活動中。

松下 美千代 (まつした みちよ)



高校卒業後、ヤマハ音楽院エレクトーン科に入学。1993年、毎日新聞社主催「ファミリーソング大賞」グランプリ受賞。25歳、アメリカのバークリー音楽大学のサマースクールへ参加。帰国後、都内を中心にジャズピアニストとして活動を開始。現在は自己のトリオや数々のセッションに参加する傍ら、作曲、編曲、出版物のアレンジ、レコーディングなど音楽三昧の生活をしている。

中山 美佳 (なかやま みか)



武蔵野音楽大学卒業後、一度は音楽を離れ、社会生活をエンジョイするが、「耳をひらく」というレッスン法に出会い、音の奥行き的美しさに目覚めたことで音楽の世界に引き戻され、独自の方法で作曲を開始。流れのままに音楽活動をするにより、自主制作CD「The First Star」「Moon Angel」の発売に至る。JAXA広報施設JAXAi スタッフとして展示解説経験から得た知識を生かし、宇宙に関するトークを交えたコンサート活動、プラネタリウムをはじめ各種イベントへの楽曲提供などを通して、音による癒し空間の演出を展開中。ムック版書籍「宇宙女子」にインタビュー記事掲載。
ブログ: Cosmic Sound Player Mika のライフストーリー
<http://mika358.blog.fc2.com/>

長岡 聡季（ながおか さとぎ）



東京藝術大学音楽学部付属高校、同大学、同大学院修士課程を経て、室内楽科博士後期課程修了。

シューベルトの室内楽曲の研究により、同大学室内楽科初の博士号(音楽)取得。

現在、横浜シンフォニエッタコンサートマスター。また、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、神戸市室内合奏団他、各地のオーケストラにてゲスト・コンサートマスターを務めている。

ミュージカル、演劇ほか舞台でも『マレーネ』(黒柳徹子主演)、『GOOD』(西村雅彦主演)、『フレディ』(島田歌穂主演)、『エリザベート』(宝塚歌劇団)ほかに出演。

ポップスのジャンルでも活動し、aiko、矢沢永吉、松浦亜弥ほかのサポートメンバーとして演奏。またスタジオミュージシャンとして、嵐、コブクロ、浜崎あゆみほか、数々のセッションに参加するなど、ジャンルを問わず幅広い分野で活動している。

これまでにヴァイオリンを、磯恒男、高橋孝子、大谷康子、若松夏美、岡山潔、松原勝也、ヴァルター・フォルヒャートの各氏に師事。

東京藝術大学室内楽科非常勤講師を務めるなど、後進の指導にも積極的にあたっている。

水谷 直子（みずたに なおこ）



上野学園大学音楽学部器楽学科ピアノ専門卒業。

「読売新人演奏会」、第12回市川市文化会館新人演奏会に出演し、ピアノ部門優秀賞を受賞。

大学卒業後、第8回石橋益恵ピアノ奨学金を受賞し、ハンガリー国立リスト音楽院に留学。同音楽院にて、ソロリサイタル及びヴァイオリンとデュオリサイタル、帰国後、石橋エオリアンホールにて奨学金受賞記念リサイタルを行う。

2010年東京文化会館小ホールにて原佳大氏と2台ピアノで共演する。

現在主に、声楽、管楽器等の伴奏者として活動している。

千葉県歌曲アカデミー伴奏ピアニスト、声楽団体「グロッケン」伴奏ピアニスト。ピアノを水谷達夫、鹿野明子、柳澤美枝子、Both Lehel、オルガンを小林英之、室内楽をPásztor Ákos、日本歌曲伴奏を塚田佳男、の各氏に師事する。

石樽 仁恵（いしぐれ きみえ）



5歳よりピアノを始め、桐朋学園付属子供の為の音楽教室を経て東京音楽大学ピアノ科卒業。

器楽、声楽等の伴奏、アンサンブルなどの他 ブライダル ラウンジ等々で演奏活動中。

高橋 奈津子（たかはし なつこ）



幼少のころよりピアノを習い、音大にてクラシック音楽を学ぶ。
クラシック音楽の魅力をより多くの人に知ってもらうため、ピアノソロのほか、
ピアノデュオ、アンサンブル、伴奏など、幅広く演奏活動を行う。トークを交
えたコンサートでは、わかりやすい解説や演出が好評を博す。
モットーは“こころに響く音色と演奏”。好きな作曲家はショパン、ラフマニノ
フ。
HPアドレス <http://natsuko-takahashi.com/>
